



「ものづくりの愛知」と呼ばれるように、製造品出荷額等が33年連続全国第1位となっている愛知県は、自動車関連産業の中心地であり、大手自動車メーカーを頂点に、部品の製造・加工を担う中小企業がそれを支える裾野の広い産業構造を形成しています。

こうした自動車産業の競争力の源泉の一つとして、注目されているのが、効率的な生産を追求した生産管理方式です。最近では、製造業だけではなく、大手スーパーや地方自治体など、様々な事業所においてその導入・活用が進められ、成果をあげています。

愛知県では、そんな生産管理手法を導入し、ものづくり力の向上を目指す中小企業を支援するため、「ものづくり中小企業生産管理支援事業」を実施しています。その一環として、生産管理手法を中小企業で実践していただけるように、マニュアルを作成しました。

このマニュアルは、経験豊富な指導員が中小企業での支援経験をもとに、活動を継続できる体制づくりに主眼を置き、生産管理の基礎となる「3S（整理・清掃・整頓）」「見える化」「標準化」を中心に作成したものです。

導入のための「第一歩」を踏み出すきっかけとして、本マニュアルをご活用いただければと思います。

平成23年3月

愛知県産業労働部地域産業課



はじめに

◆ものづくり中小企業生産管理支援事業とは、

「ものづくり」は「ひとづくり」の思想のもと、改善活動を通じてゆめを持ち挑戦する強いリーダーを育成することを目標とします。

◆こんな思いはありませんか？

◇改善活動について

- ・ 関心はあるが、中小企業でも出来る活動なのか
(大企業だから出来ることというイメージがある)
- ・ 企業にとって良いことだと理解はするが、収益に結びつく効果があるのか疑問だ
- ・ 以前に改善指導を受けその時は活発に活動したが、その後定着していない

◇リーダー育成について

- ・ 「改善」に興味はあるが、推進出来る人材がない
- ・ 「改善」の知識は多少あるが、具体的な進め方がわからない

◆この支援事業の進め方は、

改善活動の「基礎づくり」に時間をかけて指導

◇基礎づくりの進め方

3S → 見える化 → 標準化 の順で推進していきます。

◇「このような進め方で、本当に儲かるようになりますか？」と疑問に思われるかもしれません。

この事業は基礎をしっかりと理解・実践することが、後の改善に繋がっていくと考えています。

改善活動を「理解→社内展開→定着出来る人材」の育成

◇人材育成のステップ

ステップ1：3S→見える化→標準化を経験し、基礎知識を習得

ステップ2：個別改善出来る知識・技能を習得

ステップ3：相互勉強会が実施出来る知識・技能を習得

◇企業発展に活かしていくために、学んだことを社内に展開・定着、そしてさらに良いものに発展させていく改善推進者（リーダー）となる人材の育成をします。

◇改善推進者（リーダー）が育成されると、



改善活動が進みます



- ・安全性が向上します
- ・品質が向上します
- ・作業能率が向上します
- ・従業員のモチベーションが向上します



原価低減に寄与します



収益増に繋がります

◆本マニュアルの活用方法

この事業は、企業の皆さん自身に取り組んでいくものです。そのため、社内における「前向きな取り組み姿勢、支援を受け入れる体制、トップの理解とバックアップ」は必要不可欠となります。そんな社内の体制づくりとして本マニュアルをご活用下さい。

目次

はじめに

1. 企業活動の資源 1

2. 生産管理方式を導入していくために

2-1 トップのやるべきこと 2

2-2 取り組み姿勢 3

2-3 全員で知恵を出す 4

2-4 管理監督者のあるべき姿 5

3. 生産管理方式の概要

3-1 ものづくりの基本的概念 7

3-2 ものづくり力の向上(人材育成のステップ) 9

4. 改善活動の基礎づくり

4-1	3S	10
4-2	3Sの実践	11
4-3	見える化	17
4-4	標準化	18

5. 改善活動

5-1	改善を進めるに当たっての心構え	19
5-2	改善活動のサイクル	19

おわりに
